

新型コロナウイルス感染防止対策に伴う大会開催ガイドライン

京都府高体連バレーボール専門部

京都府高体連バレーボール専門部はJVAバレーボールガイドライン（2020. 0707更新版）を参考に大会開催に当たり、以下の感染防止対策ガイドラインを策定します。

1 大会全般について

- ① 大会主催者は本部に感染対策責任者を設置する。
- ② 消毒等感染防止に必要な物品は本専門部で準備する。ただし、参加チームにも用具・設備等を使用した後、消毒するための物品の準備を求める。
- ③ 当分の間は「無観客試合」を原則とし、会場に入場できるのは、登録選手、顧問（監督）、コーチ、チーム関係者及び大会役員のみとする。必ず、選手以外はID及びスタッフ章を着用すること。

2 大会参加募集時の対応（主催者が参加者に求める感染拡大防止措置）

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる。こと。（大会当日に書面で確認を行う）
 - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
 - エ（未成年者においては）保護者の参加同意書を得られない場合
- ② マスクを持参すること。（会場到着時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際などにはマスクを着用すること）
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施。
- ④ 他の参加者、主催スタッフ等との距離を確保すること。（できるだけ2m以上／障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- ⑤ 大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと。
- ⑥ 感染拡大のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。また、体育館や会場校が示す感染防止対策や注意事項を遵守すること。
- ⑦ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ⑧ 当分の間は「無観客試合」を原則とする。

3 大会参加者が遵守すべき事項

- ① 体育館に来場する全ての者（大会役員、顧問、指導者、生徒、保護者※）は、予選リーグ戦2週間前から「★健康チェックシート（提出用）および参加同意書」に必要事項を記入し、当日顧問に提出すること。
- ② 顧問は大会当日、体育館に来場する全ての者の「★健康チェックシート（提出用）および参加同意書」と「◆チーム同行者検温確認表」を作成・提出すること。
受付で★◆を提示できない場合や記入漏れなどがあった場合は、いかなる理由があっても入場できない。
- ③ 「手洗い・うがいの励行」、「咳エチケット」、「マスク持参と必要時の着用（会場到着時や着替え時

等の競技を行っていない際や会話をする際など)」を徹底すること。

- ④ 熱中症予防にも十分に配慮すること。特にマスクを着用していると水分補給を忘れてしまうことにより体温が上昇することがあるため、こまめに水分を補給すること。水分補給を行う際には、各人の水ボトルを用意するなど、飲み回しをしないようにする。
- ⑤ 飲食については密にならず、周囲の人とは対面を避け会話を控えめにする。
- ⑥ ミーティングを行う場合は、3つの密に注意すること。
- ⑦ 各校消毒する用具（除菌シートなど）を持参し、使用したボールをこまめに除菌するよう努めること。また、ベンチ移動の際にベンチを消毒したり、更衣室使用後の周辺を消毒したりすること。

4 大会主催者が準備・配慮すべき事項

- ① 試合用コート1日1面当たり4チームを超えない範囲での参加に限る。
- ② 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う。窓を開けることができる環境でも、競技中は遮光の関係で暗幕を閉じる必要があるが、セット間など定期的に開放して外気を取り入れる等換気を行うこと。空調設備の活用や、必要に応じて扇風機を併用するなどの工夫を心がける。
- ③ 試合球はできるだけ複数個用意し、こまめに消毒・清掃を行って交換しながら使用する。
- ④ 線審のフラッグ、得点板、モップ等、試合で使用する備品類のこまめな消毒など衛生対応に留意する。
- ⑤ 審判員の笛については、できるだけ電子ホイッスルを使用する。
- ⑥ 熱中症のリスクにも備えること。
- ⑦ 式典等、運営についてはできる限り、簡略化すること。
- ⑧ コイントス時、キャプテンと審判間のあいさつや試合前後の握手は、当面は一礼などでこれに代える。
- ⑨ トイレ・手洗いには石鹸（ポンプ式が望ましい）を用意する。
- ⑩ 更衣室については、換気に配慮する。また、他の参加者と密にならないよう広さにゆとりをもたせる。ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加人数を制限する等の措置を講じる。

5 競技中の注意事項

- ① 試合前などの円陣や、ベンチでの集合時においてもできるだけ密集・接触を避けること。
- ② ミーティングを行う場合は、3つの密に注意すること。
- ③ 試合中のハイタッチは禁止。靴底を手でさわらないこと。ネット際などで、相手に向けた状態での発声は控えること。
- ④ タオル・水ボトル・アイシングバッグなどの共用の禁止。
- ⑤ 各試合会場周辺でアップをする際は、大きな声を出さないように心がけること。
- ⑥ ベンチでは離れて座ること。ウォームアップエリアでも密に気をつけて、私語は慎むこと。

6 その他の留意事項

大会主催者は、万が一感染が発症した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、大会当日に参加者より提出を求めた書面（上記3①★②◆）について、保存期間（少なくとも1か月以上）を定めて保管する。

また、大会終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、保健所等の関係機関と連携して対応する。